

1. 基本情報						
事務事業番号	02380	事務事業名	国分中央高校運営事業	担当部	教育部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	国分中央高等学校
施策名	001	立志と将来への希望を育む学校教育の充実			担当課長	脇 伸宏
基本事業名	005	専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実			グループ	管理グル-ブ
予算科目目	会計 一般会計 款 10 教育費 項 04 高等学校費 目 01 高等学校総務費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 令和30年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条則等	特になし	
				関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

国分中央高校は、「園芸工学科」「生活文化科」「ビジネス情報科」「スポーツ健康科」の学科がある。これらの特性を生かした確かな学力の定着に努め、多様な進路実現を図る。また、豊かな心を育て、地域・保護者から信頼され、期待される学校づくりに努め、魅力ある専門高校づくりを目指す。そのために高等学校運営の円滑な推進、学校施設・設備の不良箇所改善など維持管理に努め、安心安全な教育環境の整備を図る。また、学校図書室の運営に係る事業、スポーツ健康科に係る校外活動や外部講師招へい事業、修学旅行・1日遠足・3者面談等に係る事業、授業に必要な各種印刷物や教科書・指導書等に係る事業などによりソフト面において適切な教育環境を整える。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア 資格取得試験検定回数	回	83	87	79	87
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア 生徒	生徒数	人	748	747	747	765
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)	令和 6年度 (目標)
ア 進路決定に役立つ学習をする。	<small>「進路について真剣に考え、模試や資格取得等積極的に取り組んでいる」と回答した生徒の割合</small>	%	91	91	89	91
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)

市立国分中央高等学校の活力、専門性、教育水準の維持向上を図り、地域に信頼され魅力ある学校づくりに取り組むとともに、歴史・伝統を継承しつつ、時代のニーズに即応した高度な専門的技術や知識を持った人材の育成に努めます。
また、進学・就職指導の充実を図るとともに、募集定員の確保に向けた取組を強化します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 4年度の改善改革の内容 (取り組むべき課題)

・ 校訓「至誠・自律・敬愛」の精神の具現化 (挨拶・他者への思いやり・感性豊かな生徒の育成を目指す)

・ 危機管理体制を確立した教育活動の展開 (スクールカウンセラーとの連携によるカウンセリング、職員の情報共有と組織対応)

・ 生徒・保護者・地域の満足度が高い学校づくり (礼儀指導、保護者との信頼関係の構築、地域の中学校と)

・ 4学科連携のさらなる活性化を目指して、さまざまな機会を求めて積極的に参加する。

4. 事業費の推移

事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	812	706	825	812
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,662	14,607	14,575	16,654
	事業費	千円	10,474	15,313	15,400	17,466

5. 令和 4年度の実績及び成果

(1) 令和 4年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 4年度の成果 <左記の実績 (取組) による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ健康科は、外部講師によるスポーツトレーニングやスポーツ栄養学等を学んだ。 ・ 2学年の修学旅行は、昨年度まで新型コロナウイルス感染拡大の影響により学科別の研修旅行であったが、令和 4年度は修学旅行を実施することができた。 ・ 4月に全学年で実施した 1日遠足において、スポーツ健康科は野外活動実習を実施した。 ・ 4月に 3者面談を実施した。 ・ 授業に必要な各種印刷物や教科書・指導書等を購入した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ健康科の生徒は、外部講師によるスポーツトレーニング実習等でトレーニングの基礎基本などを学ぶことにより、専門的な運動法や知識を得ることができた。 ・ 修学旅行や野外活動実習は、先生方の引率のもと、整った環境の中で安全安心に実施できた。 ・ 3者面談により進路指導の方向性を定めることができた。 ・ 授業に必要な各種印刷物や教科書・指導書等の購入により授業が円滑に行えた。

事務事業 番号	02380	事務 事業名	国分中央高校運営事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高等学校

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
C 効率 性	事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実のために継続して取り組むことが適当であるため。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)					
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	<ul style="list-style-type: none"> ・校訓「至誠・自律・敬愛」の精神の具現化（挨拶・他者への思いやり・感性豊かな生徒の育成を目指す） ・危機管理体制を確立した教育活動の展開（スクールカウンセラーとの連携によるカウンセリング、職員の情報共有と組織対応） ・生徒・保護者・地域の満足度が高い学校づくり（礼儀指導、保護者との信頼関係の構築、「地域の中の学校」づくり） ・4学科連携のさらなる活性化を目指して、さまざまな機会を求めて積極的に参加する。 				
(3) 令和6年度の方向性（具体的な取組）	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀指導に関して、啓発（全校朝礼等での全体への語りかけ）と職員の率先垂範（挨拶立哨活動等）による指導を通して徹底を図る。 ・担任、養護教諭、部顧問、教育相談係等の連携のもとに、迅速且つ組織的な対応を今後も継続する。 ・生徒や保護者の思いに耳を傾け、人格形成を第一の目標に掲げた部活動運営にあたるよう継続した指導を行う。 ・地域と連携した探究活動等を推進し、地域社会の発展に進んで貢献する主体性の育成を図る。 				

8. 2次評価結果（担当部長評価）					
			評価者	職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性	拡 充			
		維 持			
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評					

1. 基本情報						
事務事業番号	02381	事務事業名	国分中央高校生徒・教職員健康診査事業		担当部	教育部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課長	脇 伸宏
施策名	001	立志と将来への希望を育む学校教育の充実			グループ	管理グループ
基本事業名	005	専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実			内線番号	46-1535
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和33年度 ~)	
	項	04	高等学校費		期間限定複数年度(~)	
目	01	高等学校総務費		根拠法令・条則等	学校保健法	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	特になし

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>								
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)								
国分中央高校の生徒を対象に検診(内科・眼科・歯科検診等)を実施 事務事業の手順 養護教諭と契約業者との協議 検診実施 検診結果指導 支払等事務処理								
活動指標 (事務事業の活動量)								
	活動指標	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)		
ア	全生徒対象検診実施項目数	件	6	6	6	6		
イ	1年のみ対象検診実施項目数	件	3	3	3	3		
ウ								
(2) 事務事業の目的								
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)	
ア	生徒	生徒数	人	748	747	747	765	840
イ								
ウ								
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)	令和 6年度 (目標)	
ア	良好な体調管理ができる。	年間平均一日当たりの病欠欠席者数	人	13	4	18	4	4
イ								
ウ								
(3) 総合計画との関係								
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)								
市立国分中央高等学校の活力、専門性、教育水準の維持向上を図り、地域に信頼され魅力ある学校づくりに取り組むとともに、歴史・伝統を継承しつつ、時代のニーズに即応した高度な専門的技術や知識を持った人材の育成に努めます。 また、進学・就職指導の充実を図るとともに、募集定員の確保に向けた取組を強化します。								

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和 4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 担任及び学年部と連携を図り、虫歯治療率向上に取り組んだが、目標値の40%を達成できなかった。引き続き虫歯治療率向上に取り組む。		単位	3年度 決算	4年度 当初予算	4年度 決算	5年度 当初予算	6年度 計画
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	3,056	3,429	3,019	3,442
	事業費	千円	3,056	3,429	3,019	3,442	3,442

5. 令和 4年度の実績及び成果	
(1) 令和 4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
・1年生249人を対象に眼科検診、心電図及びレントゲン撮影を、全生徒747人を対象に尿検査、内科検診及び歯科検診を実施した。 ・生徒の保護者に対し、早めに健康診断の時期を通知し、受診率の向上に努めた。	・健康診断結果、要精密者又は治療勧告者数は、心電図12人、尿検査10人、内科検診30人、眼科検診19人、歯科検診168人であった。要精密者及び治療勧告者に対し、病院での再受診や治療を行うように保健指導等を行った。受診率は、歯科については、22.7%、眼科検診57.9%であったが、それ以外は100%であった。

事務事業 番号	02381	事務 事業名	国分中央高校生徒・教職員健康診査事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高等学校

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実のために継続して取り組むことが適当であるため。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充					
		維 持				レ	
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大	
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 令和 5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	担任及び学年部と連携を図り、虫歯治癒率向上に取り組んだが、目標値の40%を達成できなかった。引き続き虫歯治癒率向上に取り組む。						
(3) 令和 6年度の方向性（具体的な取組）	生徒の心身両面に関わる健康相談についても、担任及び学年部並びに関係機関が連携を図りながら指導を行う。						

8. 2次評価結果（担当部長評価）

			評価者	職・氏名			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大	
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02382	事務事業名	国分中央高校活性化事業		担当部	教育部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	国分中央高等学校
施策名	001	立志と将来への希望を育む学校教育の充実			担当課長	脇 伸宏
基本事業名	005	専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実			グループ	管理グループ
予算科目目	会計 一般会計 10 教育費 04 高等学校費 01 高等学校総務費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成24年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	特になし	
				関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 平成23年度に「スポーツ健康科」、「ビジネス情報科」を新たに開設し、生徒の基礎学力の向上に努めるとともに、学校の活性化に取り組んでおり、農業・家庭・商業・体育の専門学科や体育系・文化系部活動の環境(外部指導者の導入 指導教員の技術力向上 生徒進学先の開拓 新入学生の確保 備品・設備等の充実 大会補助)を充実することを目的とする。結果、高校が活性化し本校の生徒が専門学科や体育系・文化系部活動で九州大会や全国大会で活躍することは、「霧島市」を知ってもらうことにもなり、地域の活性化につながる。また、卒業時の進路については、これらの中で習得した社会に寄与する資質や技能など専門性を身につけることで、専門学科に關係のある上位学校や就職に就けるように努めるものである。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア 部活動に加入している生徒の割合	%	74.90	80	72.80	80
イ 部活動に加入している生徒数	人	560	600	544	600
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア 国分中央高校の生徒	全生徒数	人	748	747	747	840
イ						
ウ						

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)	令和 6年度 (目標)
ア 九州大会に出場する	九州大会出場補助回数	回	4	18	7	10
イ 全国大会に出場する	全国大会出場補助回数	回	6	21	5	10
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 市立国分中央高等学校の活力、専門性、教育水準の維持向上を図り、地域に信頼され魅力ある学校づくりに取り組むとともに、歴史・伝統を継承しつつ、時代のニーズに即応した高度な専門的技術や知識を持った人材の育成に努めます。
 また、進学・就職指導の充実を図るとともに、募集定員の確保に向けた取組を強化します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 部活動において、実績のある外部講師による指導及びスポーツ講演会を開催することで技術力の向上を図る。また、強豪校との練習試合や合同練習を通して経験を積み、九州大会や全国大会への出場回数を増やし、国分中央高等学校の知名度を上げる。

4. 事業費の推移		単位	3年度 決算	4年度 当初予算	4年度 決算	5年度 当初予算	6年度 計画
事業費 投入量	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	4,763	6,900	5,200	7,500	7,500
	事業費	千円	5,281	6,248	8,358	6,649	6,649
		千円	10,044	13,148	13,558	14,149	14,149

5. 令和 4年度の実績及び成果

(1) 令和 4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 4年度の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> 外部指導者による部活動の指導やスポーツ講演会を行い競技力の向上に努めた。 陸上部、女子ハンドボール部、柔道部、ダンス部、放送部が全国大会に、陸上部、女子ハンドボール部、放送部、柔道部、水泳部が九州大会に出場する機会を獲得したことから、大会出場経費補助による経済的支援を行った。 指定宿舎に舎監を配置して生活指導を行った。また、寮監を配置し生徒の安全安心を図った。さらに、今年度、新規入居した生徒30名に指定宿舎に入居する際の一時金の一部補助及び入寮生への家賃補助を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化系・体育系を含め、各部等の全国大会・九州大会への出場による出場経費補助回数は、全国が5回、九州が7回であった。特に柔道、陸上、女子ハンドボール部の活躍が実力どおりに発揮され、学校の活性化は着実に成果が現れている。 指定宿舎に舎監及び寮監を配置し、入寮生の生活指導と安全安心を確保した。また、入居一時金の一部補助及び家賃補助により、保護者の経済的負担を軽減できた。

事務事業 番号	02382	事務 事業名	国分中央高校活性化事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高等学校

6. 振り返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実のために継続して取り組むことが適当であるため。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)					
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			レ
		縮小			
		休業止（統合含む）			
			皆減	縮小	維持 拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和5年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	部活動において、実績のある外部講師による指導及びスポーツ講演会を開催することで技術力の向上を図る。また、強豪校との練習試合や合同練習を通して経験を積み、九州大会や全国大会への出場回数を増やし、国分中央高等学校の知名度を上げる。				
(3) 令和6年度の方向性 (具体的な取組)	引き続き、学校の活性化を図ることにより、霧島市内外の優秀な生徒の本校への入学を促し、部活動等の活躍による本校の知名度向上に努める。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)					
			評価者	職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			
		縮小			
		休業止（統合含む）			
			皆減	縮小	維持 拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評					

1. 基本情報						
事務事業番号	02383	事務事業名	国分中央高校維持管理事業		担当部	教育部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	国分中央高等学校
施策名	001	立志と将来への希望を育む学校教育の充実			担当課長	脇 伸宏
基本事業名	005	専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実			グループ	管理グル-ブ
予算科目目	会計 一般会計 10 教育費 04 高等学校費 02 高等学校管理費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 令和30年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条約等	特になし	
				関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
<p>国分中央高校は、「園芸工学科」「生活文化科」「ビジネス情報科」「スポーツ健康科」の学科がある。これらの特性を生かした確かな学力の定着に努め、多様な進路実現を図る。また、豊かな心を育て、地域・保護者から信頼され、期待される学校づくりに努め、魅力ある専門高校づくりを目指す。そのために月1回の安全点検による不良箇所の確認を行い、担当教諭と協議し、学校施設・設備の不良箇所改善など維持管理に努め、安心安全な教育環境の整備を図る。</p>						
活動指標 (事務事業の活動量)						
	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)	
ア	安全点検回数	回	12	12	12	12
イ						
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア	国分中央高校の施設(農場を除く)	施設数(施設台帳)	箇所	17	17	17
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)	令和 6年度 (目標)
ア	不良箇所の改善等により適切な教育環境を実現する。	施設の修繕額(実績)	千円	9,317	2,600	1,308
イ						
ウ						
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
<p>市立国分中央高等学校の活力、専門性、教育水準の維持向上を図り、地域に信頼され魅力ある学校づくりに取り組むとともに、歴史・伝統を継承しつつ、時代のニーズに即応した高度な専門的技術や知識を持った人材の育成に努めます。 また、進学・就職指導の充実を図るとともに、募集定員の確保に向けた取組を強化します。</p>						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
<p>令和 4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)</p> <p>安全点検を定期的実施することで適切な維持管理に努め、修繕が必要な箇所には可能な限り職員で対応するとともに、予算を伴う場合には、優先順位を付して対応し、安全安心な教育環境を整えていく。</p>		単位	3年度 決算	4年度 当初予算	4年度 決算	5年度 当初予算	6年度 計画
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	1,985	2,373	2,361	2,263
		一般財源	千円	29,139	18,274	19,543	23,582
	事業費	千円	31,124	20,647	21,904	25,845	

5. 令和 4年度の実績及び成果	
(1) 令和 4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>施設・設備については月1回の安全点検による不良箇所の確認を行い、担当教諭と協議しながら修繕等を行った。本年度については、校内の通路や農業情報処理室エアコン修繕を行った。なお、建付けの悪いドアや鍵の不具合、トイレの水の流れの不具合などの簡易な修繕は職員で対応した。</p>	<p>一部の校舎は老朽化が著しく、毎年度不良箇所の発生件数が増えているが、安全点検等により、学校施設設備の不良箇所を早期に修繕等することで、施設設備の適正管理に努め、安全安心な教育環境を整えることができた。</p>

事務事業 番号	02383	事務 事業名	国分中央高校維持管理事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高等学校

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実のために継続して取り組むことが適当であるため。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)							
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充					
		維 持				レ	
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持		拡 大
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	安全点検を定期的を実施することで適切な維持管理に努め、修繕が必要な場合には可能な限り職員で対応するとともに、予算を伴う場合には、優先順位を付して対応し、安全安心な教育環境を整えていく。						
(3) 令和 6年度の方向性（具体的な取組）	大規模な修繕等については、関係課と協議調整を行いながら予算要求を行うが、軽微な修繕については、引き続き職員で対応するなどして、適切な教育環境の維持管理に努める。						

8. 2次評価結果（担当部長評価）		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充	
		維 持	
		縮 小	
		休廃止（統合含む）	
			皆 減
			縮 小
			維 持
			拡 大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02384	事務事業名	国分中央高校農場管理事業		担当部	教育部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	国分中央高等学校
施策名	001	立志と将来への希望を育む学校教育の充実			担当課長	脇 伸宏
基本事業名	005	専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実			グループ	管理グル-プ
予算科目目	会計 一般会計 款 10 教育費 項 04 高等学校費 目 02 高等学校管理費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 昭和44年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条等	特になし	
				関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

園芸に関する基礎的・基本的な知識と技術を学ぶとともに、植物バイオ・情報処理等の先端技術を習得し、近代的・科学的な判断のできる農業経営者や農業の理解者になることを目指す。そのために園芸工学科生徒の授業・農業実習として、小畑農場の適切な管理と学校施設・設備の不良箇所改善など維持管理に努め、安全安心な教育環境の整備を図る。さらに、安全点検による不良箇所の確認を行い、担当教諭と連携を図りながら修繕等を実施する。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア 安全点検回数	件	12	12	12	12
イ 生産物売上高	千円	3,748	3,756	3,252	3,756
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア 国分中央高校の施設(農場)	施設数(施設台帳)	箇所	18	18	18	18
イ 国分中央高校園芸工学科の生徒	園芸工学科の生徒数	人	110	120	109	120
ウ						

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)	令和 6年度 (目標)
ア 不良箇所の改善等により適切な教育環境を実現する	施設・設備の修繕件数	件	14	7	9	7
イ 農業実習を通じて農業関係企業の就職や農業系の進学者数を増やす	卒業生のうち農業関係企業の就職者数や農業系学校の進学者数	人	2	10	2	10
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

市立国分中央高等学校の活力、専門性、教育水準の維持向上を図り、地域に信頼され魅力ある学校づくりに取り組むとともに、歴史・伝統を継承しつつ、時代のニーズに即応した高度な専門的技術や知識を持った人材の育成に努めます。また、進学・就職指導の充実を図るとともに、募集定員の確保に向けた取組を強化します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

農業関係企業への就職や農業系学校へ進学する生徒のためにもGAPやHACCPの実践に重んじ取り組むとともに、デジタル化した温室等を使用し、スマート農業等の先進的な農業技術を学ぶことができるような実習に取り組む。また、農場や実習地ほか「国分中央高等学校施設設備方針」の具体的な内容について、園芸工学科担当教諭との協議を進める。

4. 事業費の推移

事業費	単位	3年度	4年度		5年度	6年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	3,635	3,576	2,962	3,261	3,261
一般財源	千円	5,197	5,224	6,197	7,582	7,582
事業費	千円	8,832	8,800	9,159	10,843	10,843

5. 令和 4年度の実績及び成果

(1) 令和 4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> デジタル化した温室等を使用し、スマート農業等の先進的な農業技術を学ぶ取組をした。 ASITAGAP認定とHACCPを取り入れた実践学習、「蔓無源氏バイオ苗の増殖」の研究に取り組んだ。 蔓無源氏の菓子原料としてのペーストなど食品加工に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 農場のデジタル化により、最先端の農業に関する知識・技術を習得するための学習をすることができた。 日本農業クラブ全国大会農業鑑定競技会において優秀賞を受賞することができた。 蔓無源氏の栽培研究を中心とした6次産業化や地域連携が充実した。

事務事業 番号	02384	事務 事業名	国分中央高校農場管理事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高等学校

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実のために継続して取り組むことが適当であるため。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持				レ	
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大	
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 令和 5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	農業関係企業への就職や農業系学校へ進学する生徒のためにもGAPやHACCPの実践に更に取り組むとともに、デジタル化した温室等を使用し、スマート農業等の先進的な農業技術を学ぶことができるような実習に取り組む。 引き続き、農場や実習地ほか「国分中央高校学校施設設備方針」の具体的な内容について、園芸工学科担当教諭との協議を進める。						
(3) 令和 6年度の方向性（具体的な取組）	小畑農場の設備や備品などの計画的な更新を進め、時代のニーズに対応した教育環境の整備を図る。併せて、学科間の連携を含めた6次産業化への取組みを充実させることにより、魅力ある高等学校教育の推進を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

						評価者	職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充						
		維 持						
		縮 小						
		休廃止（統合含む）						
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
コスト投入（予算）の方向性								
(2) 総評								

1. 基本情報						
事務事業番号	02385	事務事業名	各学科課題研究支援事業		担当部	教育部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	国分中央高等学校
施策名	001	立志と将来への希望を育む学校教育の充実			担当課長	脇 伸宏
基本事業名	005	専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実			グループ	管理グル-プ
予算科目目	会計 款 項 目	一般会計 10 教育費 04 高等学校費 03 教育振興費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 昭和30年度 ~) 期間限定複数年度(~)		
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条則等	特になし	
			関連計画	特になし		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
国分中央高校は、「園芸工学科」「生活文化科」「ビジネス情報科」「スポーツ健康科」の学科がある。これらの特性を生かした確かな学力の定着に努め、多様な進路実現を図る。また、豊かな心を育て、地域・保護者から信頼され、期待される学校づくりに努め、魅力ある専門高校づくりを目指す。そのために高等学校運営の円滑な推進、学校施設・設備の不良箇所改善など維持管理に努め、安心安全な教育環境の整備を図る。これらのうち、本事業では各学科の特性を生かした資料用教材などの課題研究に係る消耗品を購入する。						
活動指標 (事務事業の活動量)						
	活動指標	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア	資格取得試験検定回数	回	83	87	79	87
イ						
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア	生徒	生徒数	748	747	747	765
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)	令和 6年度 (目標)
ア	進路決定に役立つ学習をする。	%	91	91	89	91
イ						
ウ						
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)						
市立国分中央高等学校の活力、専門性、教育水準の維持向上を図り、地域に信頼され魅力ある学校づくりに取り組むとともに、歴史・伝統を継承しつつ、時代のニーズに即応した高度な専門的技術や知識を持った人材の育成に努めます。 また、進学・就職指導の充実を図るとともに、募集定員の確保に向けた取組を強化します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移						
令和 4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	3年度 決算	4年度 当初予算	4年度 決算	5年度 当初予算	6年度 計画	
市関係各課や各種団体と連携することにより、各学科の課題研究内容を充実させる。		事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	665	640	640	692
		事業費	千円	665	640	640	692	

5. 令和 4年度の実績及び成果	
(1) 令和 4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
各学科の課題研究に係る教材や消耗品を購入した。	園芸工学科、生活文化科、ビジネス情報科、スポーツ健康科 4 学科の特性に沿った教材などの購入により、教育環境が整えられ、時代のニーズに合わせた授業や実習を行うことができた。

事務事業 番号	02385	事務 事業名	各学科課題研究支援事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高等学校

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実のために継続して取り組むことが適当であるため。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性	拡 充					
		維 持				レ	
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持	皆 増	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	市関係各課や各種団体と連携することにより、各学科の課題研究内容を充実させる。						
(3) 令和6年度の方向性（具体的な取組）	各学科の生徒が、意欲を持って課題研究に取り組めるよう、外部講師を招いての授業や講演などを実施し教育環境を充実させていく。						

8. 2次評価結果（担当部長評価）

				評価者	職・氏名		
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持	皆 増	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02386	事務事業名	国分中央高校設備整備事業		担当部	教育部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	国分中央高等学校
施策名	001	立志と将来への希望を育む学校教育の充実			担当課長	脇 伸宏
基本事業名	005	専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実			グループ	管理グループ
予算科目目	会計 一般会計 10 教育費 04 高等学校費 03 教育振興費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 令和30年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価		根拠法令・条例等	特になし
					関連計画	特になし

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
国分中央高校は、「園芸工学科」「生活文化科」「ビジネス情報科」「スポーツ健康科」の学科がある。これらの特性を生かした確かな学力の定着に努め、魅力ある専門高校づくりを目指す。特に各学科の取組にパソコンを利用した専門科目があり、学科の特性を生かした授業を行っている。平成23年度からは「商業科」と「情報会計科」を統合し、「ビジネス情報科」を開設し、従来の「総合実践」の授業に「パソコンの充実」を加えた。また、平成24年度から課題研究に電子商取引の講義を行っている。5年を目処にパソコンを更新することで、生徒が最新の情報処理機器の技能・技術を習得でき、時代のニーズに応える人材育成にもつなげる。また、学校の備品を更新することで、教育環境の整備を図る。						
(2) 事務事業の目的						
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア	資格取得試験検定回数	回	83	87	79	87
イ						
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア	生徒	生徒数	人	748	747	747
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (実績)
ア	進路決定に役立つ学習をする	「進路について真剣に考え、模試や資格取得等積極的に取り組んでいる」と回答した生徒の割合	%	91	91	89
イ						
ウ						
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)						
市立国分中央高等学校の活力、専門性、教育水準の維持向上を図り、地域に信頼され魅力ある学校づくりに取り組むとともに、歴史・伝統を継承しつつ、時代のニーズに即応した高度な専門的技術や知識を持った人材の育成に努めます。 また、進学・就職指導の充実を図るとともに、募集定員の確保に向けた取組を強化します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移						
令和 4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	3年度 決算	4年度 当初予算	4年度 決算	5年度 当初予算	6年度 計画	
園芸工学科、生活文化科、ビジネス情報科及びスポーツ健康科の4学科全てにおいて、パソコンを使った授業の充実を図り、情報の収集及び分析力を身に付けるとともに、技術の習得と知識の表現力向上を目指す。また、令和3年度に策定した「国分中央高等学校ICT環境整備方針」を具体化するための校内の情報教育推進係と協議を進める。		事業費	千円	0	0	5,900	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	30,000	0	0
		一般財源	千円	18,908	17,632	19,651	33,126	19,016
		事業費	千円	18,908	17,632	25,551	63,126	19,016

5. 令和 4年度の実績及び成果	
(1) 令和 4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 4年度の実績(取組)による成果を記載
・精華アリーナにWi-Fi環境の整備を行うとともに、スポーツ健康科に学習者用タブレット(45台)の整備を行った。	今回の整備の結果、全ての学科においてパソコン等を活用した情報処理の授業を行うことができた。これにより、各種資格取得や、公式ブログ等による当校の情報発信に寄与した。 特にスポーツ健康科への今回の整備は、アンケートにて大部分の関係者が学力向上に役立つと回答する等、当科に専用の学習者用コンピュータを整備できたことにより、情報共有環境が向上した。 また、精華アリーナへのWi-Fi環境整備によって、場所を選ばずに必要な情報を得ることができるようになり、学習環境が向上し、授業のレベルが上がった。

事務事業 番号	02386	事務 事業名	国分中央高校設備整備事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高等学校

6. 振返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	専門高校としての魅力向上や、高等学校教育の充実のために継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)							
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持				レ	
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持		拡 大
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	園芸工学科、生活文化科、ビジネス情報科及びスポーツ健康科の4学科全てにおいて、パソコンを使った授業の充実を図り、情報の収集及び分析力を身に付けるとともに、技術の習得と知識の表現力向上を目指す。また、令和3年度に策定した「国分中央高等学校ICT環境整備方針」を具体化するため校内の情報教育推進係と協議を進める。						
(3) 令和 6年度の方向性（具体的な取組）	学習者用パソコンリースの更新を年次的・計画的に行い、今後も引き続き、生徒が授業を通じて最新の情報処理技能・技術を習得できる教育環境を整えていく。 ICT技術の進歩や、国の動向等を見極め、適宜適切に「国分中央高等学校ICT環境整備方針」を見直す。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名	教育部長・池田 宏幸
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充		
		維 持		レ
		縮 小		
		休廃止（統合含む）		
			皆 減	縮 小
				維 持
				拡 大
		コスト投入（予算）の方向性		
(2) 総評	スポーツ健康科では、精華アリーナのWi-Fi環境整備及び学習者用タブレット端末整備により、学習効率が上がった。全学科において、パソコン端末等を活用した情報処理教育の充実が図られ、ワープロ・情報処理技能等の上級資格取得に役立った。また学校のブログ等から、広く情報発信を行うことができた。 今後も引き続き「国分中央高等学校ICT環境整備方針」に沿って校内のICT環境の充実を図り、それぞれの学科等の状況に応じた教育の向上を目指す。			

